



News Release

報道各位

YANMAR

2018年8月1日

ヤンマー株式会社

国内農機メーカーとして初の「GLOBALG. A. P.」認証を取得



<ヤンマーシンビオシス栗東センターの水耕レタス栽培施設>

ヤンマー株式会社のグループ会社であるヤンマーシンビオシス株式会社（本社：大阪市、社長：堀井英孝）は、滋賀県栗東市にあるヤンマーグリーンファームの水耕レタス栽培において、国内農機メーカーとして初の「GLOBALG. A. P.」認証を取得しました。

「GLOBALG. A. P.」は、特に欧米では多くの流通大手が調達の際に生産者に求めている認証です。また日本国内では、厚生労働省により「食品衛生管理の国際標準化」を目的とした「HACCP」に沿った衛生管理の制度化も検討されています。この度、ヤンマーは「食の安全」「環境保全」「労働の安全」を国際標準の生産工程管理で実現する「GLOBALG. A. P.」に着目し、国内農業機械メーカーとして初めて認証を取得しました。

ヤンマーグリーンファームを運営するヤンマーシンビオシス株式会社は、障がいのある方の雇用を推進する共生社会の実現を目指して2014年4月に設立し、10月に特例子会社認定を受けたヤンマーのグループ会社です。滋賀県の栗東センターでは、農産物の生産・販売など、農業を通じて地域や人の暮らしを豊かにする事業を展開しています。本センターの水耕レタスは、週末に一般開放しているヤンマー社員食堂「Premium Marché OSAKA」のサラダ用のほか、ヤンマーが運営する各施設に出荷されています。

ヤンマーでは、農作業の効率化を支援する ICT システム「SMARTASSIST REMOTE」を提供しており、本サービスは日本 GAP 協会より「ASIAGAP」、「JGAP」の推奨システムとして認定されています。

今回、ヤンマーグループで「GLOBALG. A. P.」認証を取得したことにより、今後 GAP 認証取得を目指す担い手農家様や農業法人様に対して、トレーサビリティ管理や営農に関する情報提供など幅広く支援出来るよう取り組んでまいります。



<ヤンマーシンビオシス栗東センター外観（左）、水耕レタス栽培施設（右）>

■ヤンマーシンビオシス株式会社概要

設 立 日：2014年4月1日

所 在 地：大阪市北区鶴野町 1-9 梅田ゲートタワー

資 本 金：3,000万円

代 表 者：代表取締役社長 堀井 英孝

事業内容：ヤンマーグループ各社の農業研究の補助、清掃、事務補佐、工場内軽作業など

ヤンマーシンビオシスについて

<https://www.yanmar.com/jp/about/company/yss/>

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功しました。以来、産業用ディーゼルエンジンを事業の柱とし、さまざまな市場へ商品・サービス・ノウハウを融合したトータルソリューションを提供する総合産業機械メーカーです。小型エンジン、大型エンジン、農業機械・農業施設、建設機械、エネルギーシステム、マリン、工作機械・コンポーネントの7事業を有し、グローバルにビジネスを展開しています。

「自然と共生し、食料生産とエネルギー変換の分野でお客様の課題を解決するとともに、未来へつながる社会とより豊かな暮らしへの貢献」をミッションステートメントに掲げ、世界の「都市」「大地」「海」の事業フィールドで、資源循環型社会“A SUSTAINABLE FUTURE”実現への貢献を目指しています。詳しくは、ヤンマー株式会社ウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

ニュースリリースに記載されている内容は、記者発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問合せ先】

ヤンマー株式会社

ブランドコミュニケーション部 広報グループ

E-mail: koho@yanmar.com